

夏秋蠶 五十八萬二千五百五  
繭産額 三萬二千四百十九貫  
(價額九十五萬八千四百六十四圓)

内 春 蠶 十九萬三千二百九十貫  
(價額二百二十六萬四千八百九十九圓)  
夏秋蠶 十六萬八百七十一貫  
(價額百三十萬六千三百五十五圓)

一割五分三厘減  
〇割〇分八厘増  
〇割五分五厘増  
一割〇分六厘増  
二割五分三厘増  
〇割八分〇厘減  
一割五分一厘減

を示して居る、而して前記のやうに前年に比し收購高の増收を見、全國を通じて第五位の繭産額を得たのは夏秋蠶に於ては早害に係り桑樹の發育を阻害し之れが爲め桑葉の硬化を見越し掃立數量を減じ隨つて減收を見たけれど春蠶に於ては繭價高を見越し掃立數量の増加したのと氣候適順であつたが爲め桑樹の發育、蠶作共に良好な結果を見次の如き郡市別の成果を見たのである。

郡市別	養蠶戸數		掃立數量		收購高		前年收購高 =比シ増減
	實戸數	春蠶	夏秋蠶	總數	春蠶	夏秋蠶	
水戸	五、三三	四、八四	五、三三	一〇、一七	一、四七	一、五八	△ 二九
東茨城	五、三三	四、八四	五、三三	一〇、一七	一、四七	一、五八	△ 二九
西茨城	三、〇三	二、八元	三、九三	三、九一	七、三〇	七、五〇	△ 五、九七
那珂	二、七元	二、五三	二、五四	二、〇〇	六、一六	五、九五	△ 二、二一
久慈	三、五三	二、九二	三、九七	一、五、六元	三、五八	五、二九	△ 四、四三
多賀	七、七	二、八二	七、〇	七、〇	四、九	九、〇五	△ 六、〇
鹿島	三、四	三、七四	三、〇六	三、一七	一、四〇	七、九	△ 八、〇
行方	二、八三	二、六四	二、七三	二、五〇	三、三	三、五	△ 二、五
新治	六、九五	六、七四	六、三三	九、一八	三、四	六、四	△ 六、七
筑波	九、七四	九、四四	九、三二	六、四〇	三、三	三、三	△ 二、七
眞壁	七、六二	七、九七	七、一五	九、一七	三、三	三、三	△ 三、七
結城	五、〇九	四、七九	四、九五	五、六四	三、三	三、三	△ 三、九
猿島	六、三三	六、三〇	六、三六	九、九八	三、三	三、三	△ 三、九
北相馬	二、七三	二、四三	二、五八	二、九六	一、七	一、八	△ 三、九
合 計	三、九	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	△ 三、九



### 縣内の耕地總面積は

# 廿二萬二千六百余町歩

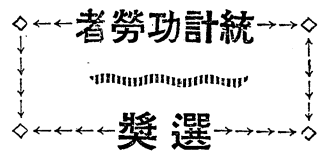
稲敷郡が最廣面積を占め  
水戸市を除き多賀郡が最挾

縣統計課が調査集計して發表したところによる昭和十二年末現在に於ける本縣の耕地總面積は二十二萬二千六百五十二町九段歩で畑別にすれば田は九萬六千六百三十二町五段歩畑十二萬六千二百四段歩で前年に比し總面積で一千五百三十五町歩(七厘)を、田で二百七十四町六段歩(三厘)を、畑で一千二百六十四町四段歩(一分)を何れも増加した。尙ほ耕地面積の昭和十二年中に於ける年内移動を見ると一千九百八十二町一段歩で擴張は一千九百六十一町五段歩(九割九分)實測の結果に依る増加は二十町六反歩(一分三厘)で減少面積は四百四十七町一段歩、内潰廢四百十五町八反歩(九割三分)實測の結果に依る減少三十一町三反歩(七分)である之を田畑に分けると

増加 擴張△田三百七十三町二反歩△畑一千五百八十八町三反歩、實測△田十六町一反歩△畑四町五反歩▼減少 潰廢△田百七町三反歩△畑三百八町五反歩、實測△田二十二町二反歩△畑九町一反歩

である。次に耕地面積を郡市別に觀れば稲敷郡の二萬三千三百五十六町九段歩が首位を占め新治郡の二萬三千十町二反歩東茨城郡の二萬一千二百八十六町二段歩が之につき其の他は何れも二萬町歩以下で水戸市を除けば多賀郡の六千八百八町八段歩が最少である郡市別による年末現在及び前年との増減は左の如くである(△は減少、單位は反)

郡市別	現在		前年ニ比シ増減	
	耕地	畑	耕地	畑
水戸	三六・七	一九・五	二七・二	〇・五
東茨城	三二・六・二	七〇・六・一	二六・〇	二・九
西茨城	一〇・四八・五	四・九六・一	八〇・七	二・五
那珂	一九・〇六・二	五・七五九・六	九・七	一・五
多賀	一四・二六・三	六・七七八・八	七・四七五・五	六・〇
鹿島	六八・〇八・八	三・七五七・二	三・〇五九・六	一・七
行方	一六・九七・六	六・五五四・六	一〇・四九三・〇	七・五
新治	一〇・七五・九	六・二五九・九	四・六五五・〇	七・五
新波	三三・五八・九	一三・八八六・二	九・五五五・七	二・五
筑波	一五・〇三・〇	七・七七七・六	二・五五六・〇	一〇・三
眞壁	一九・六四・〇	九・五五四・六	一〇・〇三九・四	七・一
結城	一六・六四・五	六・三三四・五	一〇・四四〇・〇	一・八
猿島	一六・七七・五	四・五五〇・一	三・三三〇・四	四・一
北相馬	八・七六・二	四・八四二・一	三・八四四・一	一・三
計	三三・六五・九	六・六三三・五	三六・〇〇・四	一・五五五・〇



### 憲法發布五十年記念の

## 意義深い紀元節に表彰

知事、協會總裁からも授賞

### 農林大臣より 選奨された人々

二月十一日の佳節を以て多年農林統計調査に従事し其間精勵恪勤而かも研鑽以て農林統計の改善刷新に貢献し或ひは又農業調査に國勢調査に努力したる人々は左記七名にして當日農林大臣より授與された選奨状及び諸氏の事蹟概要を記せば次の如くである。

#### 選奨状

久慈郡賀美村 調査員 **中野惣太郎**  
多年農林統計調査ニ従事シ精勵恪勤常ニ研鑽

#### 選奨状

猿島郡古河町書記 **森茂右衛門**  
新治郡藤澤村書記 **來栖吉一**  
眞壁郡古里村書記 **戸頃晋**

ニ努メ以テ農林統計ノ改善刷新ニ貢獻シタル功績顯著ナリ將來一層奮勵以テ本調査ノ實績向上ニ盡瘁アラシコトヲ望ム  
右選奨シ銀杯一箇ヲ授與ス  
昭和十三年二月十一日  
農林大臣從三位 勳二等伯爵 **有馬賴寧**

猿島郡勝鹿村調査員 **長濱彦次郎**  
新治郡山ノ莊村調査員 **岩瀬鐵三郎**  
多賀郡日立町調査員 **遠藤軍藏**

多年農林統計調査ニ従事シ精勵恪勤常ニ研鑽ニ努メ以テ農林統計ノ改善刷新ニ貢獻シタル功績顯著ナリ將來一層奮勵以テ本調査ノ實績向上ニ盡瘁アラシコトヲ望ム  
右選奨シ木杯一箇ヲ授與ス  
昭和十三年二月十一日  
農林大臣從三位 勳二等伯爵 **有馬賴寧**